

かぶと山とオオハクチョウの親子



(久美浜町甲山)

◆年頭のごあいさつ、補正予算……………	2
◆条例等……………	3
◆一般質問……………	4～14
◆視察報告……………	15～17
◆陳情、意見書、賛否一覧……………	18
◆市民と議会の懇談会……………	19
◆市民の声、あとがき……………	20

3月定例会予定

2月24日	本会議(招集日)
3月 9日	本会議(代表・一般質問)
3月10日	本会議(一般質問)
3月13日	本会議(一般質問、議案審査)
3月30日	本会議(最終日)

新年のごあいさつ

京丹後市議会
議長 松本 経一

実り多くさらなる飛躍の年に

新年あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては、清々しい新春をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。

昨年は、長年の悲願であった山陰近畿自動車道の京丹後大宮インターが開通し、また、地方創生事業の拠点となる「新シルク産業創造館」が竣工するなど、京丹後市発展への新たな展望が開けた年でした。

本年は、第二次総合計画の基本計画見直しの年にあたります。また、地方創生の事業も着実に進めなければなりません。市議会として、監視、評価、提言力を一層高め、引き続き市政発展に努力いたします。格別のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

さて、本年の干支は酉（トリ）ですが、酉という漢字には「実る」「成熟する」という意味もあります。京丹後市にとって、本年が実り多く、さらなる発展の年になることを期待するとともに、皆様のご健勝とご多幸を祈念申し上げ、新年のごあいさついたします。

平成 28 年 12 月定例会は、11 月 29 日から 12 月 22 日までを会期として開催しました。一般会計補正予算 6 号、7 号議案、京丹後市立こうりゅう保育所の無償譲渡、京都地方税機構規約変更に関する協議、市道路線の廃止・変更・認定について、陳情、意見書などの 51 件を審査しました。

12月定例会 補正予算を可決

一般会計補正予算（第6号）

5 億 8166 万円

一般会計補正予算（第7号）

3600 万円

ワークスタイル創出事業

総務省のモデル事業として、都市部から企業を誘致し、農業や観光産業において、その社員の労働力を活用する。

主な質疑

問 都市部からの企業を誘致できる見通しは。

答 総務省がニーズ調査をして、企業のピックアップをしてくれる。

問 2年間のモデル事業だがその後はどう考えているのか。

答 30年度以降は、補助金制度などを考えていく。

問 誘致戦略委員会のメンバーや内容は。

答 大学の先生・テレワークの研究機関・都市部の大手通信業者などを考えている。何が必要か検討する。

問 拠点はどこになるのか。

答 丹後地域地場産業センターや丹後王国食のみやこを考えている。

美食観光の推進

食を活用した観光振興として、ワークシヨップ及び勉強会を開催する。

主な質疑

問 美食によるまちづくりをどのように進めようとしているのか。

答 ワークシヨップを立ち上げ、勉強会を行う。美食観光の定義についても議論していただく。自然や歴史、気候、風土に恵まれた旬の食材、安全な食材を用いた料理や加工品を、京丹後版美食として発信していきたい。

賛成討論

山陰近畿自動車道の大宮峰山道路における地籍事業について、用地交渉は最も重要である。この事業の財源を国・府に対してしっかりと要望すべきである。

問人漁港荷捌所の建設は京都府産木材を使用することになった。水産業だけでなく、農林業と連携して事業整備が円滑にいくよう期待する。

【全員賛成で可決】

こくりゅう保育所を完全民営化に

京都地方税機構規約変更

自動車関係税受付事務の共同化で自動車税の受付・審査等を京都地方税機構で一括して行う。

主な質疑

問 市へのメリット・デメリットは。

答 流れが一本化されることで事務の効率化が図られる。

問 移管されることによる市への負担は。

答 業務の増加については、非常勤を雇用する。市職員派遣の必要はない。

反対討論

徴収業務が納税者の立場に立ったものにならない。生活実態に沿った指導・援助を強める税務行政に逆行するものである。

賛成討論

共同化により、納税者の利便性の向上、業務の効率化となり、費用も軽減できる。

【賛成17・反対4で可決】

反対討論

子どもが心身ともに穏やかに育っていくためには、市として保育に責任を持つべきである。

民営化になれば、営利を求め、効率化の追求もあり、職員への処遇にも問題が起きてくる。

賛成討論

保護者のニーズにあわせて、時間延長、休日保育など保育サービスの拡充が図られ、アンケートでも満足しているとの声が多かった。

財政的にも、4千万円程度の減額となる。

【賛成17・反対4で可決】

保育所施設の無償譲渡について

反対討論

民営化に伴い、社会福祉法人「不動園」に施設等及び通園バスを無償譲渡する。

主な質疑

問 建物の重要な補修、改修、大型の修繕などへの補助金は。

答 民間の場合は国・府の補助金が受けられるので活用してもらう。

問 通園バス2台はどうするか。市として他園で使用するにならないか。サービスの水準を維持していけるのか。

【賛成15・反対6で可決】

答 維持管理費を含めて法人負担で運営していく。サービス水準を落とさないことが大前提であると考えている。



通園バス



こくりゅう保育所

保育所条例の一部改正について

保育運営の効率化・サービスの充実を図るため、市立こくりゅう保育所を民営とする。

主な質疑

問 委託先が運営できなくなった場合はどうなるのか。

答 財務諸表は公認会計士にも確認している。保育事業ができなくなった場合は市が責任を持つ。

問 苦情・サービス低下の場合の対応はどうか。

答 市がいったん話を聞き、法人を指導していく。

問 保育内容・サービス

の充実。市としての責任は。

答 公立保育所ではできていなかった休日保育や一時保育ができるようになっていく。適切な運営について責任を持って監督する。

問 財政への効果はどれくらいか。

答 約4千万円の削減効果が見込まれる。

問 発達に課題のある子どもへの加配措置についてどう考えるか。

答 民間ですべきものであると考えるが、今までどおり市で審査を行い、市としての加配措置をしていく。

12月定例会一般質問

市政を問う

～議会を傍聴しましょう!～

京丹後市議会

検索

<http://www.city.kyotango.lg.jp/shigikai>

一般質問を平成28年12月9日、12日、13日の日程で行い、21人の議員が質問し、市長や教育長に答弁を求めました。

掲載は質問順、内容は本人から提出された要約原稿です。また、ケーブルテレビ11チャンネルでの放送や京丹後市議会ホームページで配信していますのでご覧ください。

起こるべくして起こる米軍の交通事故

市長
さらなる取り組みを要請していく

問 米軍関係者の交通事故が多発している。これまでの運転許可人数や交通安全講習会の受講状況はどうか。

市長 運転許可は230人。Yナンバー車は95台。運転者に責任ある事故35件の内、半分为安全講習を受けていない。

問 安全講習も受けないもとで交通事故は起こるべくして起こったと言わざるを得ない。防衛局が「来日する米軍人に合わせて安全講習会の日程調整をするのは難しい」と黙認していることは許されない。抜本的な交通事故防止対策が必要では。

市長 これまでも標識の問題や冬の注意ポイントなど交通安全に関わる各種取り組みを

粘り強く実施してきた。交通安全講習会などさらなる取り組みを要請していく。

福祉資金等で暮らしの支援を

問 これまで若者の厳しい就労状況を告発してきたが、安倍政権のもとで貧困と格差が拡大している。京丹後の生活保護世帯やワーキングプアの実態は。

市長 平成28年度の生活保護世帯は391世帯、受給者は553人である。平成16年度から170世帯、206人の増加である。

住民課税台帳で給与収入が200万円以下の割合が44%である。(平成28年度、バイト等を含む)

問 貧困と格差拡大をす



日本共産党
田中邦生

する安倍暴走政治の転換が必要だ。

京丹後市においてはセーフティネットの拡充が求められる。また、生活保護受給者へ福祉資金の利用の道が開かれた。生活保護世帯等への制度の普及と丁寧な対応を。

市長 福祉資金は生活保護世帯でも使えるが最終的には福祉事務所長が承認し決定する。



抜本的な交通安全対策を

グループホームなどの障がい者福祉の充実を

市長 国・府への要望もし、不安解消に努める



日本共産党
橋本まり子

問 障がい者のグループホームの増設、ショートステイ、中学生の日中一時支援や、放課後デイの拡充など、保護者の不安解消に向けて取り組むべきでは。

市長 5期福祉計画に向け、分析整理し充実に向けて取り組む。国・府にも要望を上げる。支援学校中学部を対象の放課後デイや、日中一時支援は現状として十分でないで、特に長期休暇に対しての支援を強化したい。

問 作業所通所者への給食費補助の復活は。

市長 考えていない。

学校再配置について

問 豊栄小学校の再編は地域の思いを丁寧に聴くべきでないか。

教育長 再配置基本計画

の見直しが可決され次に再配置協議会を立ち上げ、学校条例を提出する流れになる。今後丁寧な説明を重ね、地域理解を得ていく。

問 この間の学校再配置の長期的な総括をしっかりと、子どもの人数が減るから近隣の学校と一緒にしていくという考え方でなく「地域づくり」と一体となった学校」のあり方を考えていく方向にかじを切る時期に来ているのではないか。

教育長 長期的な総括はしていく。再配置基本計画に基づいて進めていく。

米軍基地にかかわる安心安全について

問 福知山での訓練での確認事項は。



丁寧な地元対応が再配置には必要！豊栄小

市長 武器は別便で、人員は基地から福知山まで集団で移動する。

問 穴文殊の上のトイレに市は抗議を。

市長 改善要望しているが返答はない。

問 日米地位協定の見直しの要望書を市独自で出すべきでは。

市長 他の自治体や渉外知事会と一緒に提出していく。単独では考えていない。

京丹後市に文化芸術振興条例の制定を

市長 京丹後市総合計画に沿って文化振興を行う



日本共産党
松本直己

問 文化芸術振興基本法第2条に『文化芸術を創造し、享受することが人々の生まれながらの権利である』とうたわれている。京丹後市には、文化協会を中心にジャンルを超えたさまざまな文化活動が展開され文化要求が多くある。このような要求に応えるためにも、芸術文化振興のビジョンと計画を持ち、文化芸術振興条例を制定すべきだと考えるが。

市長 文化芸術のまちづくりの推進を行っていきたいと考えている。現在、文化芸術振興条例制定は考えていない。文化芸術振興は、総合計画に沿って進めていきたいと考えている。

問 芸術文化振興には、それを進める拠点施設づくりと専門職員の配置が必要だと考える。文化振興課設置等の考えはないか。

市長 丹後文化会館の施設が老朽化しているの、利用してもらいや改修は考えていきたい。職員体制は現状で進めていく考えである。

高齢者福祉を充実し地域の振興を

問 高齢化が進む地域でのさまざまな課題を解決し、高齢者が居住地で安心安全な暮らしを営み、地域が支え合う支援を行うのが自治体の責任と考える。支援策はどのようなになっているか。

市長 第二次地域福祉計画を策定し、地域のさまざまな生活課題に地域全体で取り組む体制

問 保育所や学校が無くなり若者が住みにくい地域となり、高齢者の二人暮らしや独居老人世帯が増えている。日常生活を支える地域福祉の充実と災害時の支援体制の強化が必要と考えるが。

市長 地域の声を聴きながら充実していく。



芸術文化の拠点施設づくり



Dr. Y. Nakamura

未来を展望した子育て支援、教育をすべき



Dr. Yoko Kikuchi is a Japanese-born, U.S.-trained physician and a board member of the Japanese American National Museum. She is currently a professor of medicine at the University of California, San Francisco, and a senior advisor at the Center for Global Health. Dr. Kikuchi has a long history of public service, including her role as a board member of the Japanese American National Museum. She is also a member of the National Academy of Medicine and the National Academy of Sciences. Dr. Kikuchi has received numerous awards and honors for her work in medicine and public service.

6

新幹線誘致をどのように考えているか

市長 整備計画は重要。連携を図り取り組んでいく



丹 政 会
中 野 勝 友

問 山陰縦貫超高速鉄道整備推進市町村会議とは。

市長 7府県50の市町村で組織されている。これまでリニアや新幹線の調査、要望活動を行ってきた。

問 鳥取市や東京で行われた決起大会の際にも山陰縦貫超高速鉄道整備推進会議が開催された。今後、この地域において主導的な役割を担うのか。

市長 地域で主導的な役割を果たしつつ、府県知事、経済界等と連携し、超高速鉄道の整備に向け取り組んでいく。

問 都市計画マスタープランには「新駅設置の可能性を含め」とあるが、新幹線の誘致は求めないのか。

市長 各府県北部に1カ

所は必要であると期待したいが、山陰新幹線が計画されて40年以上進展していない。近隣5市2町で推進活動も行っており、今後も連携を図り、活動を行っていく。

文化財を観光資源に

問 高速道路ができ、観光客の増加が見込まれる史跡や古墳の整備の必要性は。

市長 観光客増加に期待している。文化財も資源であると考えているが、駐車場や看板などの整備の必要性がある。

問 整備構想段階で、他の課との連携は。

市長 魅力的な資源が多く、教育委員会とも連携し検討していく。



新幹線誘致に期待

児童生徒国際交流事業の拡充を

問 派遣人数はなぜ9名なのか。

教育長 初めての事業であり、財政面や受け入れ先の状況により9名とした。

問 事業の拡大を考えるべきではないか。

教育長 応募件数も多く、今後、増やしていく方向で検討したい。

縦割りを排して市民起点での京丹後市経営を

市長 総合的かつ機動的な組織の見直しは必要だ



丹 政 会
谷 津 伸 幸

問 市民と行政に意識のズレを感じる。顔が見え、声が聞こえる市役所とするには、市長だけでなく職員も市民とのコミュニケーションが必要ではないか。

市長 縦割り組織は、権限の乱用防止や責任所在の明確化など、必要な仕組みだが課題もあり、プロジェクトチームや連絡会議などで対応している。新たな課題や多様なニーズに即応できる総合的・機動的に展開できるよう組織の見直しは必要だ。

問 自治体の利益である住民福祉増進を持続的に発展させるには、経営の視点は大切だ。マーケティングやシタイプロモーションの視点も必要ではないか。

市長 ミッションをいか

に達成するかだ。総合計画や地域運営の仕組みを考慮しながら、組織機構の編成を考えていく。どのような組織が簡素で効率よく回せるかは大きな課題だ。

未来へ継続できる

水環境の保全政策を

問 水洗化は環境保全に重要だ。下水3事業は最も重要な事業として経営状況はどうか。

市長 公共下水施設は一般会計の繰入金と平準化債を充当し、維持管理費は使用料で賄っている。集落排水施設は整備が完了し、維持管理費は繰入金に頼っている。浄化槽事業は補助金と事業債を充当し、毎年約七十基を整備。維持管理費の約四割を使用料で不足分を一般



美しい自然を未来へ、水環境を守る浄化施設

市長 水洗化計画は巨額の費用をつぎ込み、自然環境や生活環境の改善を目的としており考え方としてはある。

会計で賄っている。

問 今後も経営は厳しく、いずれ料金値上げか、一般会計から繰入を増やすしかない。下水3事業だけでなく、汲み取り等への環境負荷を考慮した料金の検討が必要ではないか。

就任6カ月、見えた課題は

市長 まずは人口減少に歯止めを

丹 政 会
池 田 恵 一

問 就任6カ月、見えた課題は。

市長 座談会等で市民の意見を聴かせていただいた。人口減少を止めることだと思う。

問 人口減少を止める具体的な施策は。

市長 持続可能な地域づくりを検討している。また、美食観光を通じて6次産業化を検討したい。

介護人材の確保は

問 京丹後市の介護制度の課題は。

市長 一つは特別老人ホームでの待機者があること、二つ目は介護人材の確保である。

問 待機者の解消はどうするのか。

市長 介護保険事業運営委員会でも検討していきたい。

問 介護職員の確保について市の施策は。

市長 各種研修や施設建設費の利子補給を行うことで、施設の安定的な運営や人材確保につながっている。

問 人材確保の手段として、看護学校や介護の専門学校をつくることはできないか。

市長 今、高校再編が検討されている。市としても医療、介護の科目ができないか調査していきたい。

中長期的な医療体制を

問 京丹後市の医療体制の課題は。

市長 医師、看護師の不足、市立病院の経営改善などである。

問 市立病院は一般会計から8億円の繰り入れで運営されている。今



どうする2つの市民病院

後、市立病院の改修も必要となり、中長期的な展望の中、本市の医療について考える必要があるのではないかと。

市長 医療体制については非常に重い課題と認識している。当面医師の招へいに取り組み、経営改善に努めていきたい。今後、議論する場もあると思うので、しっかりと取り組みたい。

「地域の顔」としての景観形成の推進は

市長 地域の歴史や文化を生かし
た景観形成を検討清 和 会
谷 口 雅 昭

問 街なみ環境整備事業の13年間の取り組みの総括は。

市長 この事業は、久美浜一区の伝統的な街なみの保全を目的に稲葉本家を中心にした周辺

一体の整備を、住民が地域の歴史や伝統文化を地域資源として再認識され、失われつつある地域の誇りを住民主体でされた。また、雛祭り、七夕祭りなど地域の女性の皆さんを中心に季節ごとの街なみの取り組みに結びつけたものと評価する。

問 京丹後市都市計画に示されている「地域の顔」として、網野地域での丹後ちりめんの里の街なみ、峰山地域の金刀比羅神社や歴史資源の景観形成、丹後地域の古くからの漁村集

落の景観形成などの「地域の顔」を生かした環境整備の考えは。

市長 各地域の市街地や集落には長い歴史と文化の中で形成され、まとまりが見られる。「地域の顔」として、地域の歴史・文化を生かした景観形成の推進は地域の活性化にもつながる。検討を進めていきたい。

問 自主防災組織の目的・意義は。

地域防災の底上げは

市長 大規模な災害が発生したときには、国や府、市の対応だけでは限界がある。地域や近隣の人がお互い協力して「地域は自分達で守る」ということこの目的や意義がある。

問 大規模な災害時に



災害情報の迅速な収集に

問 自主防災組織への密着した支援は。

市長 一組織8万円を上限に、資器材購入等に係る費用の二分の一を補助している。

新国道482号は危険！信号機の設置を！

市長 必要性は認識する。重要課題である



清 和 会
行 待 実

問 新国道（和田野～国久）には信号機がなく危険性が高い。区長会からも要望書が出ている。早急な対応を。

市長 府・市・警察共に信号機の必要性和危険性は認識するが、府内での設置要望が多く交通量の比較で当国道は優先度が低く今年度の設置は無理。重要課題。

問 高速道「野田川大宮線」が開通し、網野岩滝線は奥丹後地域との重要なアクセス道路としてますます交通量が増え同時に危険度も増す。道路の改良計画は28年が経過するが、いまだに外村地内では未着工である。早い対応を。

市長 現在予備設計及びルート等の再調整中。決定しだい地元で説明

する。与謝野町と共同し早期完成を目指す。用地協力等地元の合意形成をお願いする。

震災記念館の存続を

問 記念館の老朽化が目立つ。休館から4年が経過したが、なぜいまだ改修をしないのか。

教育長 耐震化等保全に向け検討したが数億円必要。改修には至らず。

問 記念館は府の指定文化財で近代日本の名建築にも選定されている。国・府等の文化財保護また震災対策関連の補助金はないのか。

教育長 市の所有であり国・府の補助はない。

問 来年で丹後震災から90年を迎える。記念館は震災の教訓と記憶を後世に残すため建築された復興のシンボル。

市民の大切な歴史遺産・記憶遺産として市は後世に残すべき責務と意義を持つが。

教育長 歴史的経過を持つ貴重な遺産。どのような保存活用ができるか引き続き検討する。

問 資金がないなら全国からの「ふるさと納税」や市民の寄付で費用を捻出できないか。

教育長 全国的に事例があるので研究して可能な方法を検討する。



子供は隅に！すれ違いが困難（外村地内）

地区要望解決こそ喫緊の課題

市長 現状ではなかなか難しい



創 明
浜岡大二郎

問 京丹後市の人口は毎年800人程減っている。この12年間で出産適齢期の女性は半減し新生児は474人から370人に、学校は45校から31校に。逆に高齢化率は27%から33%に、生活保護世帯は221から395世帯に増えた。さらに「住みよさランキング」では全国の813市の中で総合626位であり、中でも富裕度では771位で快適度は749位の惨憺たる状態、しかも年々状況は悪化している。あと10年もしたらどうなるか考えをお聞きたい。

市長 一つの指標として参考にする。負けないよう頑張る。

問 ここから抜け出すには市民のやる気、自立・

自助の気概を起こす施策。起業・創業を促す政策が肝要である。その土台には山積する地区要望の解決が欠かせない。エコエネセンターには今後30年間で90億円の修繕・運用費用を要すると私は試算する。即刻廃止し、その資金を地区要望の解決に充てる予算に回せないか。

市長 今後5年間は指定管理者が決まっている。5年後にどうするのか議会と相談して丁寧な説明をしていく。

問 建設部の抱える要望のうち中規模事業は新たに要綱を作り、当初予算では箇所決定をせずに予算枠を計上し市民局の自主判断で随意契約も含め随時に行うことができる事業枠を予算化することができないか。

従来の発想・手法ではこの危機を乗り越えられない。外部からの登用も含め市民局の人材を強化し市民局に中規模事業・要望を移管して権限と責任を持たせることを提案するが、考えを聞きたい。

市長 たとえ予算化しても設計等のことがあり現状では改善に結びつかない。



エコ施設 継続に異議（市提供写真）

将来目標人口の見直しが必要ではないか

市長
今後しっかりと議論する必要
がある



創 明
吉岡 豊和

問 市長のマニフェストにある「人口減少を緩やかにしていきます」との考え方は、総合計画に示す平成36年の下位想定人口の5万人を上回ると考えていいのか。

市長 人口ビジョンの数が今後変えられないとは思っていない。将来人口の数についてはこれまでの審議会等での経過があるので、今後しっかりと議論した上で考えるべきである。

市長 当初の人口目標より上回ることが大前提であり、その方向で予算化なり事業化を考えていく。

問 「働きやすい子育て環境日本一を目指します」との考えだがどう実現するのか。

教育長 本市の子育て支援策は、総合的に判断して他市に比べて充実しているが、今後の市民の需要等を考えた上で進めていく。

織物業への対応は

問 織物実態調査の結果、8年間で事業所が37%減、従事者数35%減となり、織物業が縮小しているが対応策は。

市長 国内最大の絹織物



平成27年度市内の出生数は355人

産地として、他産地と連携し産地の活性化に取り組んでいく。

問 織物業の振興に必要と思われる施策・支援のアンケート結果への対応はどうか。

市長 2020年は丹後ちりめん3000年、東京オリンピックの年でもあり、それに向け国内外の販路開拓・織物の消費喚起等織物業全体の振興に努める。

障害者グループホームの増設が求められる

市長
実態の把握と分析を行い、
整備を検討する



新 星 会
金田 琮仁

問 知的障害がある人の親からは、自分たちが年老いた時「我が子の生活に強い不安があるのではグループホームに入れたいが空きがない」との切実な声を聞く。障害があっても地域で共に暮らしたいと思いが、実態は。

市長 市内には7カ所ホームがあり、精神障害、身体障害者も対象だ。ショートステイとしても必要なので、有効に活用している。

問 保護者からグループホームの増設が強く求められている。社会福祉法人などの事業者にお願いされて整備を推進すべきと思うが。

市長 次期計画の策定に向け調査をし、必要となれば受け入れ事業者と相談して、しっかりと

と整備を進めたい。

スマホを利用した市民投稿システムについて

問 道路の陥没やグレールールなどの整備不備による修理修繕が遅れたために、多くの事故や重大な転落事故が発生している。道路施設等の老朽化が進行する中で、道路管理業務は増加するばかりだ。

市長 不法投棄、災害時における道路冠水や倒木、河川の増水状況などの情報も、早くて正確な情報提供となる。身近な「困ったこと」を、手軽に解決するために「スマホ」「パソコン」を利用して、地域の課題や問題を解決していく先進的な取り組みを推進してはどうか。



「困ったこと」をスマホでパチリ、すぐ投稿

市長 道路整備の不備による市の損害賠償事業はある。対策として道路パトロールを実施しているが十分とはいえない。このシステムは緊急時対応などさまざまな状況において有効に活用できるのではないかと。安心・安全なまちづくりにも有意義であると捉え、課題を精査し、前向きに取り組んでいきたい。

京丹後市名古屋事務所の活用について

市長
企業間のつなぎ役として機能強化していく新 星 会
櫻井 祐 策

問 名古屋事務所は、京丹後市と名古屋市のニーズを把握し、その仲立ちの役割を果たすべきと考える。今後の対策についてどう考えているのか。

市長 今後も事業者とのつなぎ役の担い手として重要と考えている。京丹後市内においても名古屋事務所の存在を知ってもらうために、説明会や名古屋事務所のHPの開設等も検討して、効果的に名古屋事務所の動きを市内や中京圏の方に広く発信することを検討していく。

問 観光振興の分野で事務所の設置効果をどのように分析をしているのか。

市長 事務所を拠点とした様々な観光プロモーション活動を展開している。平成27年には40件の観光パッケージツアー商品が企画販売され、丹後地域への旅行商品は右肩上がりとなっている。「海の京都DMO」でも、中京圏をターゲットとしている。市内の宿泊施設では名古屋からの旅行者が増えていることから徐々に効果が表れていくと感じている。

有害鳥獣被害について

問 熊の出没が増加傾向にあるが、平成29年3月に「第一種特定鳥獣保護計画」が見直しされるにあたり、市は府に対してどのような要望をするのか。

市長 熊の生息数は720頭まで増加しているため、本市の出没被害状況が反映されるよう、府に対して強く要望していく。



京丹後フェア開催中の名古屋事務所内

問 市民の安心安全確保のため、府と市が連携を密にしていくことが必要であるが、どういったことを行っていくのか。

市長 注意喚起や情報提供をさらに進めていくようにHPや広報誌を利用したことも検討していきたい。

産業振興について

市長
京丹後市の産業を外に向けて発信していく新 星 会
中野 正 五

問 京丹後市には、織物業や観光業、ブランド野菜などと同様に、機械金属業も外へ向けて発信すべきだ。

市長 機械金属業界新分野として進出に向けた基盤構築と集積をアピールするため、関東圏、中京圏、近畿圏で開催される展示会、商談会の出展を支援すると共に本市も共同出展して、事業所の皆さんと一緒に魅力の発信をしている。丹後機械工業協同組合が企業ガイドブック、丹後ハイテクランドを作成された。販路拡大等を目的とした企業訪問や人材確保を目的とした大学への訪問で活用してPRしている。

問 学校の先生、父兄、生徒の方に機械金属の

集積地であることが知られていない。知っていただく方法はないのか。

市長 小学、中学生の総合的な学びの中から企業見学、職場体験を通じて、機械金属をはじめとした地域の産業について理解を深める取り組みをしている。官民一体となった、総合的な施策が必要である。市民に情報発信し、生徒に応じた就職先やUターンを見越した進学先の選択など、業界団体と連携していく。

歴史史跡の整備、公園化について

問 歴史史跡の耐震化、整備推進はどうしているのか。

教育長 丹後震災記念館を修繕するには相当な



整備されていない丹後震災記念館

費用がかかるため実行には至っていない。重要な文化財であるため現在検討している。教育委員会が京丹後市文化財マスタープランを作成して、市内の主要な史跡整備について検討している。すぐにも整備していかねければならない遺跡は4カ所選んでいる。網野町の銚子山古墳整備が終わり次第、順次整備していく。

CO2削減、地球温暖化対策の強化を

市長 市民と行政一体で主体的、能動的に行う



新 星 会
平 井 邦 生

問 丹後の豊かな自然を守っていくことが重要である。豊かな自然は観光業、農業、林業、漁業など全てにわたるものである。環境対策、CO2削減・地球温暖化対策は。

市長 環境基本計画、温暖化対策実行計画などの再検討を行う。また、体系化しコストと公共の整合をとしつつ進めていく。環境問題は行政だけではなく、市民と行政と一体となつて、理念をしつかりと分かち合つて主体的かつ能動的に取り組んでいきたい。

消防・救急について
問 高速道路が京丹後市につながる、交通の量が増え交通事故の増加の懸念もある。また高

齢化率も上がってきている中、救急は1分1秒でも早く到着するのが重要である。救急車を大宮市民局等に配備できないか。

市長 合併当時に大宮へ消防署の設置も議論された。一つの分遣所を整備する場合、資機材、人員体制など大きな見直しが必要となる。市民の不安にならないように体制をとり努力をしている。市として現

消防署の資機材の充実、隊員の技能向上の支援をしていく。

問 消防団員確保の取り組みと、団員に対しての優遇処置の取り組みは。

市長 区長会等と連携して消防団員の確保をしている。家族の方に対して感謝を表すものを

計画している。

介護施策について

問 介護人材の確保の取り組みは。

市長 国に対して介護職員の処遇等抜本的な改善を要望していく。

問 特養などの施設型在宅介護か。

市長 本人、家族の思いを聞き、多様な形で高齢者が生活できるように整備していく。



大宮町にも救急車の配備を

国旗に対しての意識と認識は

市長 国家の象徴であり大切に扱うものである



政 友 会
藤 田 太

問 教育に関係する式典においては、政治的中性の観点から、また公人として出席する以上、個人の主義主張は式典に持ち込むべきではないと思うが。

教育長 全ての行事ではないが、一般的な式典には、国歌斉唱や伴奏があることは承知していただいていると思う。

行政姿勢等について

問 当選して6カ月が経過するが、当選直後と現在とで考え方について変化はあるか。

市長 交付税の通減で財政が最大の課題である。執行者になったことにより、責任の重大さを感じている。

問 当選されて何をもって市民の期待に応えよ

うとしているのか。

市長 財政運営をしつかりやっていく。さまざまな課題が山積している。スピード感をもって対応していく。

事務事業の抑制（スラップ）について

問 普通交付税の合併算定替えの通減も始まっている。毎年700人もの人口減少にも歯止めがかからない。当然事業の見直しも迫られる。これまでに廃止した事業、縮小した事業はあるのか。

市長 廃止した事業は、京丹後白書の作成・吉本京丹後劇場・健康大長寿のまちづくりなどがある。縮小した事業は、花いっぱい運動の推進員の設置などがある。



日本の国旗。日章旗

教育長 いかに人口減少にどうブレーキをかけるか。12年前合併してよかったと感じていただけの京丹後市に、一歩でも近づけるように頑張っていきたい。

新規事業の最重要課題（肝いり）の施策は

問 在任中にこれだけはしておきたい施策は。また、市長が目指す市の姿とはなにか。

次世代に向けた学習指導要領 改訂への対応は

市長
他の市町村に遅れることな
く対応する



政 友 会
由 利 敏 雄

問 29年度の教育予算、何を重点施策とするのか。

市長 次世代に向けた学習指導要領の改訂に向けて、情報活用能力を育てるために、ICT機器を33年度までに整備する。

厳しい挑戦の時代を迎える子どもたちの教育への責任は

問 教育が大きく変わる次の学習指導要領への対応は、基礎学力の定着、自立と協働の力、ICT機器の整備が必要となるが現状は。

教育長 基礎学力は一定定着している。自立と協働の力は、教育活動全体で育てている。タブレットや電子黒板については、まだ整備ができていない。計画的

に整備していく。

教育予算に課題はないのか

問 授業に必要な教材・教具、備品等の各校の状況は。

教育長 一定の基準で予算編成をしている。授業に支障はない。

問 再配置による行財政の健全化は。

教育長 学校管理費、スクールバスによる予算増加はあるが、長期的な視点で見ると一定の効果はあった。

問 小中一貫教育コディネーターに年間1千200万円が支給、職務内容と今後の配置予定は。

教育長 コーディネーターの職務は、学園の縦の連携、指導助言・調整、保護者や住民と



整備された中学校のコンピューター室

の連携や地域連携推進会議の立ち上げなどである。小中一貫教育がスタートしたばかりなので、当分の間は配置する。

問 嘱託指導主事には年間960万円が支給されている。嘱託指導主事の職務内容は。

教育長 学校訪問、各校の状況把握、就学指導全般、危機管理等である。

子育てしやすいまちづくりを

市長
多極的ネットワーク型のまちづくりを進める



政 友 会
和 田 正 幸

問 5年・10年先を見て、地域限定で、若い人、子どもたちが多く集まりやすく、活気のあるまちづくりの整備を進めては。

市長 「若者が住みやすいまちづくり」は、市の都市計画の最重要課題であるが、これは大宮町だけで進めることではなく、多極的ネットワーク型のまちづくりとして、全市的な視点に立って進めるべきであると考えている。

問 家庭で煮炊きしなくなっている。学校給食は、質が良く栄養バランスが取れていると思うが、小さい頃から体づくりをすれば、病気の予防になる。高校までの医療費の無料化するよりも、体づくりの予算を優先するべきだ

と思うが。

教育長 献立を工夫し地元食材を活用して、子どもたちに栄養バランスの取れた給食を提供している。

市長 高校までの医療費は、無料化に向けて進めている。

問 放課後児童クラブは、利用者が増えている。子どもの時から危険認識を教える必要があり、たくましい子どもに育てるプログラムができないか。

市長 ボール遊び・ジャングルジムなど、集団の中で自分自身の体を使ったプログラムとすることで、危険なことを認識させて力を付けている。

問 朝夕の通学バスの待合所があれば、送り迎えの安心安全が確保で

きる。安心安全の面から地区と協力して、一刻も早く設置すべきだと思うが。

教育長 子どもの家の位置により、毎年安全な場所に移動している。市としては通学バスの待合所は整備していない。地元主体でお願いしたい。子どもたちの安心安全を地域主体で見守ってもらいたい。



グラウンドを遊び場に

山陰近畿自動車道延伸への 決意と取り組みは

市長
京都北部連携都市圏全体の
発展を図る



政友会
水野孝典

問 野田川大宮道路の開通を、今後のまちづくりにどう生かすか。

市長 京都北部5市2町の連携都市圏全体の発展を図っていく。

問 大宮峰山道路建設促進に向けた決意は。

市長 全線事業化に向けさらに気運を高め、関係団体と共に国・府等へ強く働きかける。

問 交通安全上、特殊な事情が認められる場合、スクールバスを運行する考えは。

教育長 危険と判断した場合、他地区との整合性も考えて一定の配慮をする。

本市のランドデザインについて

問 安全な水の供給は市としての責務であるという自覚は。

市長 環境を守り、関係部署の連携を密に、初動体制も強化する。

問 「海の京都」で何を重点に取り組むのか。

市長 重点エリアを中心に各種プログラム・イベントを通じ、誘客と周遊観光推進に取り組んでいる。

問 5市2町が観光だけでなく、他の分野でも連携を強め、本市がリードして北部連携都市圏の総合的な振興を図るべき。

市長 海の京都DMOが設立され、地域の総力を挙げた取り組みが進みつつある。

問 地域とつながる学校教育をさらに推進するべきでは。

教育長 小中一貫教育で地域とつながる「丹後学」を進めていく。



悲願だった野田川大宮道路の開通

懸案事項について

問 観光・休憩施設は適切な場所につくるべきでは。

市長 間もなく経過等も含め報告する。

問 市役所本庁舎は、防災施設や図書館などの複合施設として建設すべきではないか。

市長 計画は中断しているが、議員の提案も参考にしていく。

市民の防災リテラシーが不足 していないか

市長
防災教育等の参加者は増加
している



無党派
松本聖司

問 タイムライン（防災行動計画）は、災害発生前から時間軸で誰が、何を、どうするのかを明確にし、減災・防災につながる考え方だが、市の地域防災計画の中にも取り入れる必要があると考えるが。

市長 大変重要な考え方である。消防団、自主防災組織と連携して早期に、事前の防災行動計画を作成したい。

問 大規模災害時に市役所の業務継続計画が不十分で市民への安心対応やライフラインの復旧に時間を要したケースが発生している。まだ準備ができていないと危惧しているが。

市長 今年4月の熊本地震で被災自治体が業務継続計画を策定していなかったことが課題となっていた。

なっている。早期策定に向けて取り組む。

問 自主防災組織や地区防災計画の策定が進まない理由として、地域で中核となる人材が不足していることが原因と考える。視察で訪れた松山市は防災士を育成して、地域防災の要にしている。検討に値すると思うが。

市長 自主防災を重視するうえで防災リーダーの養成は最重要と認識している。一方で、費用対効果や資格を取った防災士をどう活用するか課題もある。調査研究して検討したい。

有害鳥獣撃退機の試験導入の検討を

問 今年は集落等へのクマの出没も多く、人的被害が出ないか心配



求められる地域防災の人材

される。京都府森林技術センターが開発した、有害鳥獣を光と音で撃退する機械は、モニター結果で高い有効性を示した。防除柵を補完するものとして可能性があると考えるが。

市長 南丹市では、市が購入して地区に貸し出す予定と聞いている。使用方法や効果の持続性を確認しながら、実証実験を検討したい。

総務常任委員会

平成28年10月26日～28日 実施

視 察 先：高知県高知市

視察目的：移住・定住促進計画と
関連施策について

少子化や若年層の流出などによる人口減少は、地域の担い手確保、空家問題、集落機能の維持を深刻化させている。本委員会は、移住・定住促進施策の先進地へ視察を行った。

高知城や坂本龍馬、板垣退助のゆかりの地など市内に観光資源が豊富に点在している高知市では、総合計画・総合戦略や人口ビジョン等と連動し、「住んでみたい・住み続けたいまち高知市」を実現することを目指している。人口は、平成17年までは増加傾向にあったが、平成18年以降は年々、高齢化率が上昇する一方、若年層は減少、少子高齢化が見られる。

移住・定住対策の具体例としては、中山間地域における人口維持のため、平成27年度に小中一貫教育校「土佐山学舎」を開校した。翌年度からは、義務教育学校として、さらに特色のある小中一貫教育を推進し、地域活性化の拠点としての学校を目指す。



さまざまな移住・定住対策の説明（高知市）

その他、三世帯同居等となる子育て世帯の移住・定住の促進を目的に、転入費用や定住費用を支援する三世帯同居等Ｕターン支援事業、中山間地域の賃貸物件不足や、移住希望者への居住環境整備対策として空家の有効活用を進める一方、土佐山地域に子育て世代を対象とした公的な住宅の整備（10戸）を行っている。また、移住者のニーズに比べると共に、その地域の特性や魅力を前面に打ち出した特色ある取り組みが必要であるとして、よさこい祭りを前面に打ち出したさまざまな活動も行われている。

その他の視察先と視察目的

- 香川県三豊市「移住・定住支援の取り組みについて」
- 愛媛県松山市「市民とつくる地域消防防災力について」
- 高知県四万十町「移住・定住支援の取り組みについて」
- 高知県南国市「消防団活動と防災について」

四万十町家族支え合い居住支援
住宅取得・改修補助金

家族の支え合いによる安心な暮らしの実現のため、新たに同居する住宅を取得される方、リフォームされる方を応援します！

同居支援

最大 100万円

定住支援策の一例（四万十町）

視察を振り返って

- * 高知市の移住・定住対策は全部局で行われている。京丹後市においても参考にしたい。
- * 三世帯同居Ｕターン支援事業として転入費用・定住費用の15万円以外に補助金的な支援策がないにもかかわらず、若者が帰ってきて同居するなど成果が見られる。「お金の切れ目が縁の切れ目ではなく、人のつながりを大切にしていきたい」との答えがあった。
- * 使われていない旧健康保険施設を活用した体験滞在施設を整備し、田舎暮らしの体験を促している。また、中山間地域の人口維持のため、新しい発想で学舎を開設し地域に住宅を建て生徒や家族を呼び込んでいる。
- * 高知城、坂本龍馬など知名度がある。よさこい祭りで移住者は20人を数え、移住応援隊が結成されている。地域の魅力が息づく取り組みであり、豊かな自然や歴史・文化・産業の魅力を発信し、移住・定住の促進に結びつける施策が求められている。

文教厚生常任委員会

平成28年10月26日～27日 実施

視 察 先: 兵庫県淡路市

視察目的: 教育現場でのICT化
について

学校におけるICT化は不可避の課題であり、議会の中でもその必要性が議論されてきた。教育委員会としても、今後4～5年をめどに導入を考えているとの答弁がなされている。その導入のあり方について先進地である淡路市の学校現場へのタブレット導入について視察を行った。

「学校単位での配布」は、端末が管理しやすいというメリットがある反面、結果的に誰も使用しないで終わる傾向もある。「タブレット端末導入は目的ではなく学習の手段であり、端末を与えるだけで子どもの学びの力は育たない。教員スキル、魅力ある授業づくりの研修があつて初めて効果の出るもの」という考えが淡路市の特徴である。

ICT支援員も導入せず、ICT活用の先輩教員が身近にいる独自の「研修員制度」を構築。研修を終えた職員が研修指導や校内研修を実施し、次の研修員を育てていく。



タブレット端末の研修（淡路市）

いく仕組みである。教員の自主性を重んじ、研修員が相互に指導方法や、機器管理等の研修をしていく。校種、教科を超えてさまざまな活用事例を蓄積し、交流を図りながら指導力の向上を目指している。現在2人に1人の割合まで広がっている。平成30年度末までに全職員がタブレット端末等を授業に活用できると、校内研修で実践研究を深めていくことを目指している。

平成30年度までに小4から中3までの児童生徒と教員に、タブレットの1人1台配布を見据え、ドリル教材アプリ等を用いた反転学習や持ち帰り学習についても検証していく予定である。

エコ認証学校給食米のネーミング公募
「うまそだち」に決定
(平成17年8月の収穫祭において表彰)

うまそだち



その他の視察先と視察目的

○愛媛県四国中央市「地産地消の食育について」

地産地消の食育 取り組み一例（四国中央市）

視察を振り返って

- * 淡路市では、学校単位でタブレット等を一齐に配布する「モデル校スタイル」ではなく、市全体にICTの活用を広げる方策としての「研修員制度」を導入し、意欲を持って先進的に学ぶ教職員をまず育て、その先生を中心に周りの先生に広げていく。「単に機器を与えるだけではなく教員を育てる」という着眼点と柔軟な制度設定は参考になった。
- * 教職員の自主性とネットワークを生かした自らの要求と必要性に根ざした研修の積み上げと広がり、色んな教科で工夫された活用がなされ子どもたちの学びの意欲に奏功している。
- * 京丹後市でのICT機器の導入は、大きい財政負担になるが、教員や生徒が十分に活用できるような研修と体制づくりが早急な課題である。

産業建設常任委員会

平成28年10月26日～28日 実施

視 察 先：岩手県紫波町

視察目的：循環型まちづくりに
ついて

本委員会では、木質バイオマス関連事業や生ゴミの堆肥化など循環型事業及び循環型まちづくりの調査を目的に、紫波町を視察した。

紫波町は、環境と福祉のまちを目指して、これからの百年を視野に入れ、新世紀未来宣言をまちづくりの理念とした住民主体の循環型まちづくりを実施。さまざまな事業を展開している。

「エコ3センター」事業では、有機資源100%循環利活用の実現を目指し、堆肥や木質ペレットなどを製造し、町内で利活用されている。学校給食では、町内産のお米や地元食材を積極的に活用し、地産地消と食育に取り組み、給食残さ等はセンターで堆肥化され、町内農家に販売している。

循環型エコプロジェクト推進事業では、CO₂の削減量を「見える化」するため、住民や町内団体が貢献した減量に応じ商品券がもらえ、町内の認定店で使える。



地域冷熱供給事業の説明（紫波町）

オガールプロジェクトは、民間活力を利用して、塩漬け同然の町有地を整備し、さまざまな施設を運営している。プロジェクトを進めるエリアには、役場庁舎や図書館や子育て支援センターと産直など民間施設を併設する官民複合施設、日本初バレーボール専用体育館や宿泊施設等を併設する拠点施設、省エネルギーに配慮された紫波型エコハウスの住宅地等があり、民間企業による木質バイオマス燃料を活用した地域冷熱供給事業を行っている。

その他の視察先と視察目的

- 岩手県二戸市「にのへブランド海外発信事業について」
- 青森県田子町「にんにくによるまちおこしについて」
- 青森県八戸市「八戸ポータルミュージアムについて」



ブランド戦略の説明（二戸市）

視察を振り返って

- * 紫波町は、住民が一体となり循環型まちづくりに取り組んでおり、市民にとっても達成度が実感できるよう、毎年広報で成果指標を公表している。
- * 木質バイオマス利用促進事業では、間伐材を搬出する市民ボランティアへの対価として市内で利用できる商品券を発行し、市内でお金が循環する仕組みができています。
- * 本市エコエネルギーセンターの将来を考えると、有機資源100%循環利活用の実現を目指している「エコ3センター」事業は、研究、検討の必要がある。
- * オガールプロジェクトにより、民間活力を利用して市役所や官民複合施設が整備・運営され、子どもからお年寄りまで集まる中心市街地を形成している。
公民連携は研究の余地がある。

陳 情

陳 情 名	陳 情 者	結 果
陳情書	山腰 芳樹	審議未了
「治安維持法犠牲者国家賠償法」(仮称)の制定を求める陳情	治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟 京丹後支部長 芝井 清生 副支部長 松村 満行	不採択
若い人も高齢者も安心できる年金を求める陳情書	全日本年金者組合丹後支部 支 部 長 増田 光夫	不採択
「日米地位協定の改定を求める意見書」提出を求める陳情書	米軍基地建設反対丹後連絡会 代 表 石井 内海 事務局長 近江 裕之	継続審査 (総務常任委員会)
米軍×バンドリーダー基地問題に関わる陳情書Ⅴ	米軍基地建設を憂う宇川有志の会 代 表 三野みつる 事務局長 永井 友昭	継続審査 (基地対策特別委員会)

米軍TPY-2リーダー施設設置に伴う市民の安心・安全確保に向けての財源措置を求める意見書を国に提出

京丹後市は、米軍TPY-2リーダー施設について、政府に対して市民生活における様々な安心・安全確保のうえで欠かせない条件を提示し、政府の真摯で責任ある対応を確保したうえでリーダー施設を受け入れた。その後リーダー施設の配備・運用が行われる中、周辺住民の理解と協力を得るため、生活環境整備や住民福祉の向上等に鋭意努力しているところである。

国においては、市が行う住民の安全・安心確保に向けた取り組みへの支援強化とともに、下記の記事について実現されるよう強く要望する。

記

1 平成29年3月31日をもって失効するとされている「駐留軍等の再編の円滑な実施に関する特別措置法」については、その執行期限を延長する、又は一般法化へ向けての取り組みを行うこと。

2 市が実施する安心・安全等に係る事業のほか、関連する諸事業が円滑に実施できるよう必要な措置を講じること。

【賛成17・反対4で可決】

議案に対する各議員の賛否一覧表

賛否の分かれた案件を記載しています。そのほかについては、全員賛成で可決されました。

会派名 議員名 案 件	議案の可否	新星会				政友会				丹政会				日本共産党				清和会		創明		無所属
		金田 琮仁	櫻井 祐策	中野 正五	平井 邦生	由利 敏雄	藤田 太	水野 孝典	和田 正幸	池田 恵一	谷津 伸幸	中野 勝友	東田 真希	田中 邦生	橋本まり子	平林智江美	松本 直己	谷口 雅昭	行待 実	浜岡大二郎	吉岡 豊和	松本 聖司
京丹後市税条例等の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○
京丹後市立保育所条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○
財産の無償譲渡について	可決	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○
京都地方税機構規約変更に関する協議の件	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○
市道路線の認定について《吉沢黒部線》	可決	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○
「治安維持法犠牲者国家賠償法」(仮称)の制定を求める陳情	不採択	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×
若い人も高齢者も安心できる年金を求める陳情書	不採択	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×
米軍TPY-2リーダー施設設置に伴う市民の安心・安全確保に向けての財源措置等を求める意見書の提出について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○

《凡例 賛成：○ 反対：× 退席：退 欠席：欠 除斥：除 松本経一議員は議長職のため表決権はありません。》

(平成28年10月31日・11月1日開催分)

市民と議会の懇談会

まとめとご意見

主な内容

- ・ 9月定例会の概要報告
- ・ 市政に対する提言、議会活動などについて意見交換

懇談テーマ「地域の課題について」

懇談会における参加者の意見などをここに掲載させていただきます。

問 子ども手当や空き家提供などの子育て世代や移住世帯への優遇について、この地域に住んでもらうための対策はあるのか。

答 定住促進の補助制度は必要である。一方で産業振興にもお金が必要であり、どのような施策が本市に適しているのか、皆さんの意見も聞かせていただきたい。また、専属の移住支援員も配置しているので相談することができます。

問 地域防災について、地元で津波を想定した避難訓練を実施した。ハザードマップに反映していただきたい。久美浜中学校が津波の避難場所になっているが、時間的に避難が困難ではないかと危惧している。また、久美浜小学校の避難場所が体育館となっている。教室棟も避難場所にと要望しているが、市からの回答がないが。

答 要望に対する返事も含めて総務常任委員会

検証する。災害の種類によって避難場所が異なっていることもあるので、実態調査をします。



丹後会場の報告会

問 本庁舎整備の問題はどうなっているのか。

答 まちづくり審議会の答申を受けて、検討委員会でも基本方針、基本計画を立てた。昨年の12月議会でも基本計画とそれに基づく基本設計・実施設計の予算が提案され可決した。本年度に入り基本設計は実施されたが、市長が市民に説明できるようにいったん立ち止まりたいとの考えで、実施設計の委託契約を解除しました。

問 大宮インターが開通し、交通量が増加することと予想される。特に雨の日は歩行者は危険である。

る。溝蓋はどうなっているのか。

答 議会も提言している。道路状況については、議会としても考えます。

問 行政は、観光、イベントは積極的に取り組んでいるが、人口減少をどうするのか基本である。大宮町は人口が増えているが、市営住宅は老朽化している。いつまでに検討されるのか。

答 公営住宅建設計画が進んでいない。市に伝えます。

問 国民健康保険の運営が厳しいと聞いているが。

答 医療費の高騰により厳しい状況である。基金も残り少なくなってきた。医療費の抑制には努力している。30年度には、京都府が一括して管理する方向になっているが、値上げをしないで済むように取り組んでいきます。

問 文化的な取り組みとスポーツの取り組みには大きな格差があると感じている。文化的な取り組みを積極的に進めるべきでは。

答 伝統文化など子ども

たちにしっかりと伝え残していかなければならないものなどが多くある。市民の思いを積み上げていきます。

問 有害鳥獣被害が深刻な状況になっているので、対策の強化をお願いしたい。また、鳥獣被害によって耕作を放棄するよう人が多くなると、耕作放棄地が増えて環境面での問題も発生する。観光事業においてもマイナス面が出てくると考えます。是非、早急に検討をお願いしたい。

答 一つの地域だけではなく対応できない状況になっている。京丹後市全体の問題として、予算や人的な対応などをしていく必要がある。市にもしっかりと要望を伝えま



峰山会場の報告会

市民の 声

私とボランティア活動



峰山町堺
伊藤 紀久代

定年退職をする時の挨拶で「時間ができたらか何かボランティア活動をしたい」と思っています」と、その時は、ただ漠然と言っていました。それがどうでしょう。

ちょうど運よく、地域福祉委員を頼まれ、食改になり、峰山よさこい連に入り、歌おう会(後の「たんごシワクチャーズ」)の会員になり、「ゆるボラ丹後の会」と出会い、知らず知らずのうちに、踊ったり・歌ったり・



発表会の様子

ばらずし作ったりで、ボランティア活動をするのが出来まし

た。よさこい踊りにしても、合唱団「たんごシワクチャーズ」にしても、始めた頃には好きなことをして、それがボランティア活動につながると思ってもい

ませんでした。福祉施設でのお楽しみ会やお誕生会・地域の夏祭りやクリスマス会・保育所などの七夕会・敬老会などで踊ったり・歌ったりして、喜んでいただいで、私たちが元気をいただいています。

これら地域での活動を生かして「東北ボランティア」もすることが出来ました。平成25年度と26年度には「ばらずし作り」で、丹後の郷土料理「ばらずし」をしつかり宣伝し、丹後で

か売っていない「さば缶大」の説明もしてき

ました。27年度には「たんごシワクチャーズ」の歌で。歌はもちろん、京丹後市の健康体操「サザエさん体操」もしつかり宣伝、丹後からのボランティアには「ばらずし」は付き物、ここでも作りました。

28年度には夏によさこい踊りで。ちりめんの衣装で丹後ちりめんの宣伝、飛天のTシャツで東北支援活動をしていることも。ここでも、サザエさん体操を。演舞曲は丹後ちりめん小唄。よいちよいたんごのよいちりめんはあよいちりめんとこぎつとんとんくやはり、「ばらずし」を。ここでは、訪問先の方も一緒に「ばらずし」を作りました。

喜ばれました。29年3月には「たんごシワクチャーズ」で

また行きます。歌と「ばらずし」の予定です。

ボランティア活動のすばらしさは、いろんな方とお出合い出来、交流できることです。平成28年3月の東北ボランティアで出会った鳥取の大学生が、9月の丹後ウルトラマラソンに出場、シワクチャーズのメンバーで応援に、なんと追っかけをしたんです、ととても楽しませていただいた一日でした。再会したので

す。ボランティア活動は、今の私の生きがいになっていきます。これらのボランティア活動が出来ると健康・生活環境に感謝し、今後

も続けていきたいと思っています。峰山よさこい連、たんごシワクチャーズの皆様、今後ともよろしくお願

あとがき

今議会では新年度予算について、市長の編成方針の考えをただす一般質問が多くありました。しかし、市長は予算編成中とのことで具体的施策の方針を示しませんでした。慎重な市政運営を執っているとも言えますが、もつと市長のリーダーシップを示すべきではないかと感じました。

平成28年の世相を漢字一文字で表す今年の漢字に「金」が選ばれました。「金」には「ゴールド」と「カネ」のイメージがあり、前者はリオオリンピックやパラリンピックでの金メダルラッシュ、後者は地方議員の政務活動費不正受給が選ばれた要因になっていると思われる。

本市議会の政務活動費は、完全後払い方式や、全ての領収書の公開等、全国的に見ても厳しい制度の中で交付していると同時に、政務活動で議員力向上に努め、政策提言につながるよう活用しています。



◎広報編集委員会

委員	中野 勝友
委員	和田 正幸
委員	平井 邦生
委員	谷津 伸幸
委員	吉岡 豊和
副委員長	由利 敏雄
委員	平林智江美
委員	松本 直己
委員	中野 正五